

平成29年度事業・決算報告について

世界的に政治・経済の不透明性が高まるなか、IT 業界は、引き続き活況を維持してきた。技術力向上による企業競争力の一層の強化が求められるとともに、有能な技術者確保が緊急の課題となっている。

こうしたなか、一般社団法人島根県情報産業協会では、「情報関連技術の開発及び利用の促進、情報化の基盤整備等を通じて情報産業の振興を図り、もって本県経済、社会の発展に寄与する」という協会の目的に即し、会員相互の親睦交流と情報の交換、会員社の技術力向上のための人材育成研修を活動の柱として取り組んだ。

また、国・島根県・松江市等の行政機関との連携はもとより、島根大学・松江高専をはじめとする教育機関との連携を一層強化し、将来のIT 業界を支える技術者育成に取り組んだ。出雲商業・松江商業高校における会員社所属の技術者を講師とする実践的なIT 教育を引き続き行った。

また、松江高専生に対する本県IT 企業ガイダンスを協会主催・県共催の形で引き続き取り組んだ。

協会が独自に行っているソフト系IT 企業実態調査については、会員企業以外の企業の協力も得て実施した。前年度から実施した技術人材不足調査については、調査対象の8割近くの会社が技術者不足としており、不足の実態が拡大していることが明らかになった。人材不足の状況については、各社の協力のもと、5月には取りまとめることができ、島根県議会自民党IT 議員連盟で報告、業界の実情を訴えることができた。

順調に伸長する本県IT 企業の動向を島根県知事への報告を皮切りに、従来行っている松江・出雲・浜田・益田のほか、新たに安来、大田の各市長に説明し、あわせて、IT 産業振興施策の一層の充実を求める活動を行った。

1 会員の相互交流・情報交換

会員の相互交流については、総会、しまね情報化月間行事、新年会開催にあわせ交流会を3回実施し、200名の参加があった。

また、各交流会に先立って講演会を開催した。平川正人島根大大学院教授に「情報教育で結ぶ地域と世界」、日本マイクロソフト社 CTO 榊原彰氏には「より豊かな社会をつくるマイクロソフトのテクノロジー」、また富士通デジタルフロント事業本部本部長代理柴崎辰彦氏には、「デジタルビジネスと社会課題に挑む～共創で可能性を無限に～」と題した講演会をそれぞれ実施した。

会員交流のための親睦ゴルフコンペについては、1 回実施し、30 名の参加があった。

2 人材育成研修

IT 企業の技術者の技術力向上を図るため、県の助成を得て、21 講座（計画 21 講座）を開催し、156 名の参加があった。平成 29 年度においては、参加者が少ないため中止をした講座はなかった。持続可能な人材育成講座とするための財源としている基金については、平成 29 年度末現在で、3,260 千円と、事業費のおよそ 1/4 程度までの規模に充実することができた。

3 協会運営

会員については、県内立地企業を中心に、正会員 1 社、賛助会員 3 社の加盟があった一方、脱会した正会員 2 社あり、会員数は、平成 30 年 3 月 31 日現在で正会員数 60 社、賛助会員 17 社となった

平成 29 年度においては、定款に定める通常理事会を 4 回開催、臨時の理事会 3 回計 7 回開催した。うち 2 回が書面による理事会である。

協会活動の状況を広く伝えるため、会報編集委員会により会報誌「しまね情産協」を 2 回、会員のほか、行政機関、教育機関、他県協会等に配布した。

平成29年度決算報告書

(第 28 期)

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

一般社団法人島根県情報産業協会

〔貸借対照表〕

平成30年 3月31日現在

一般社団法人 島根県情報産業協会

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	1,104,585	【流動負債】	220,479
現金及び預金	490,585	未払費用	207,028
未収入金	604,000	預り金	13,451
前払金	10,000		
【固定資産】	3,360,000	負債の部合計	220,479
【特定資産】		正味財産の部	
敷金	100,000	【正味財産】	4,244,106
人材育成研修積立金	3,260,000	(内特定資産充当額)	(3,360,000)
		正味財産の部合計	4,244,106
資産の部合計	4,464,585	負債及び正味財産合計	4,464,585

正味財産増減計算書

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

一般社団法人 島根県情報産業協会

(単位： 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収入			
会費収入	5,140,000	5,058,000	82,000
入会金収入	40,000	30,000	10,000
特別会費(役員負担金)	910,000	980,000	△ 70,000
受取利息	61	87	△ 26
雑収入	925,000	494,395	430,605
補助金収入	5,846,495	5,359,128	487,367
受講料収入	6,705,400	4,845,900	1,859,500
経常収入 計	19,566,956	16,767,510	2,799,446
(2) 経常費用			
1.事業費支出			
一般事業費(総会費用等)	1,849,335	1,218,678	630,657
情報交流事業費	729,995	710,628	19,367
普及啓発事業費	409,052	409,117	△ 65
人材育成事業費	11,909,400	9,903,900	2,005,500
事業支出計	14,897,782	12,242,323	2,655,459
2.管理費支出			
事務局費	4,236,031	4,132,661	103,370
管理費支出計	4,236,031	4,132,661	103,370
経常費用 計	19,133,813	16,374,984	2,758,829
評価損益等調整前当期経常増減額			
評価損益等 計			
当期経常増減額	433,143	392,526	40,617
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
委託事業繰入金	0	0	0
経常外収益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	433,143	392,526	40,617
一般正味財産期首残高	3,810,963	3,418,437	392,526
一般正味財産期末残高	4,244,106	3,810,963	433,143
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,244,106	3,810,963	433,143